

# 矮性サヤインゲン品種「ピテナ」は 機械による一斉収穫に適する

福島県農業総合センター 作物園芸部 野菜科

## 1 部門名

野菜－サヤインゲン－品種、栽植様式

## 2 担当者名

武藤健男、石井詩歩

## 3 要旨

県内サヤインゲン生産現場では作付面積の減少が進んでいることから、収穫作業の省力化のために矮性サヤインゲン栽培における一斉収穫機械の導入が検討されている。しかし、機械収穫に適する品種は明らかにされていないため、品種について検討した結果、倒伏しにくい「ピテナ」は機械収穫に適していることが明らかになった。

- (1) 収穫はエダマメ収穫機(ヤンマー製、HE10A,A)で株ごと引き抜き(図1)、脱莢は手作業で行った。
- (2) 「ピテナ」は株の倒伏程度が小さく、機械収穫による莢の損傷率が低い(表1)。



図1 機械によるサヤインゲン一斉収穫の様子

表1 品種別の株の倒伏程度と機械収穫による損傷

	品種	倒伏程度 <sup>※1</sup>	健全莢 損傷莢		損傷率 <sup>※2</sup> (%)
			(本/株)		
2023年	ピテナ	2.9	66.4	5.4	7.5
	スーパーショット	3.5	36.6	3.8	9.4
2024年	ピテナ	3.1	66.6	2.3	3.3
	スーパーショット	3.9	70.2	13.4	16.0
	キセラ	3.2	65.2	6.1	8.5

注：播種は、2023年8月3日、2024年8月5日に乗用耕うん機に播種用のアタッチメントを取り付け、株間20cmの1穴2～3粒播きとした。

※1：株の傾きが60°以上を4(甚)、40～59°を3(多)、20～39°を2(中)、10～19°を1(少)、9°以下を0(無)とし、平均値を算出。

※2：総莢数に占める損傷莢の割合。

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和4～6年度
- (2) 研究課題名 風評に打ち勝つ園芸産地競争力強化事業

## 5 主な参考文献・資料

なし